



月刊えるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ



「よろずボランティア いちたすいち」さん (旧名称さんふぁみさんた)

大牟田社協さんに「友愛活動ボランティア さんふぁみさんた」として登録されています。今までとこれからの活動の事をお聞きしました。

～団体のなりたち～

2002年(平成14年)よりサンタクロースに扮して、ささやかではありますがプレゼントを持参させて頂き、ハンドベルや楽器演奏・即興似顔絵等を行い、介護をされているご家族や高齢者世帯の皆様に喜んで頂こうという思いで「さんふぁみさんた」と称して訪問活動を始めました。

～活動について～

初めの頃は訪問しても終始お念仏を唱えられたり、訪問をご利用様が忘れられたりして極寒の中、自宅に入れてもらえない事もありましたが、近年はサンタクロースが来るとの事で子どもさんやお孫さんも集まって来られる事も多く、3世代交流のきっかけができていていると思っております。

活動の様子



～近年の活動～

平成28年度より熊本地震で被災された方の仮設住宅へ定期訪問させて頂いております。

(平成29年は朝倉の仮設住宅や災害ボランティア参加) “さんふぁみ大蛇”を持って行き、“かませ”をさせて頂いたりしています。また元自治会長の方から「雲外蒼天」“努力して困難を乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている”という意味を教えて頂き、その中で「これまで施して頂いていたがこれからは施す側になりたい」と我々の訪問時手作りカレーで迎えて頂いております。

また令和元年より大牟田里親会クリスマス会にも参加して子ども達との交流も始めております。令和3年12月には「える祭り」に参加(令和2年度WEB参加)しました。介護相談傾聴ブースでは、今の介護に対するお気持ちを伺いました。ステージでは介護施設入所者様のピアノ演奏や三線演奏をして会場の皆さまに喜んで頂きました。

～今後について～

感染症の状況にもよりますが、以前のように、積極的に在宅訪問を実施していきたいと思っております。これまでも益城町手芸グループの物品販売の協力や大牟田豪雨災害支援隊を結成したりしました。

今年は結成20周年の年、サンタクロースの訪問活動に限らず、幅広い活動ができるように、令和4年5月より「よろずボランティア いちたすいち」と名称を変更し、多方面のボランティア活動に対応していきたいと思っております。皆さまよろしくお願いいたします。



連絡先：

よろずボランティア

いちたすいち

ICHI TASHU ICHI

(介護老人保健施設サンファミリー内) 坂田 田島
電話：0944-58-7722 FAX：0944-58-7742